

のぞみ

Junior Chamber
International
Sendai



vol.394

2011.12

のぞみ vol.394 2011.12



対談インタビュー

震災によって子どもたちの夢を変えさせたくない

公益社団法人
仙台青年会議所第60代 理事長
齋藤 孝志

宮城県石巻市立
雄勝中学校 校長
佐藤 淳一



2011 活動報告

新入会員紹介

次年度理事長予定者挨拶



本誌は青年会議所の活動を幅広く一般の方々に広報するための情報誌となっております。公式ウェブサイトでも掲載された内容の一部をご覧いただけます。

<http://www.sendai-jc.or.jp/>

発行所 公益社団法人 仙台青年会議所 発行責任者 金ヶ崎 政伸
〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目16番12号 仙台商工会議所ビル8階 TEL.022-222-9788(代)

— PROUD —



杜の都の誇りを創造して

5000th

プラウド仙台圏 5000戸供給記念

野村不動産(株)仙台支店は、2012年度にマンション累積供給数5000戸を達成する予定です。

プラウド青葉通マンション 「夢の街づくり」 アンケート&モニター募集

分譲マンションに関するアンケートにご協力ください。

野村不動産では、「青葉通・夢の街づくり構想」のアンケート(商品企画や意識調査)にご協力いただけるモニター会員を募集します。

モニター会員にご応募いただいた方の中から、抽選で100名様に 500円分の図書カード贈呈

※図書カードの発送は平成24年2月上旬以降を予定しております。

募集概要

〔応募資格〕住宅に興味のある20歳以上の方。※学生の方のご応募はご遠慮ください。

〔応募方法〕右記ホームページから応募いただけます。

〔応募締切〕平成24年1月31日(火)

〔活動内容〕弊社マンション事業に対するアドバイス(アンケート形式) [任期] 平成24年5月末日

※アンケートはEメールにてご案内、実施いたしますので、Eメールアドレスを必ずご記入ください。尚、携帯メールは使用できません。

※モニターによりアンケートの回数は異なる場合がありますので、予めご了承ください。

※アンケートは地域・年齢で抽選したうえ、実施する場合がございます。

※Eメール不達、でたがちな回答、イタズラ目的に該当すると認められた際は、アンケートモニターをお断りする場合がございます。

※モニターへのご応募は一世帯(一家族)一名様を対象とさせていただきます。

アンケートのご応募はこちらから

www.proud5000.com

お問い合わせは「青葉通・夢の街づくり構想」モニター募集係

0120-245-211

営業時間/午前10時～午後6時 定休日/火・水曜日

※12月20日(火)～2012年1月4日(水)は、冬期休業期間とさせていただきます。

野村不動産

目次

- 01 理事長挨拶
未来に向けた一歩を踏み出さあいこう！
～すべては子どもたちの笑顔のために～
公益社団法人仙台青年会議所 第60代理事長 齋藤 孝志
- 02 震災によって子どもたちの夢を変えさせたくない
宮城県石巻市立 雄勝中学校校長 佐藤 淳一
公益社団法人 仙台青年会議所第60代理事長 齋藤 孝志
- 09 2011活動報告
公益社団法人仙台青年会議所
・第42回 仙台七夕花火祭 実施報告
・7月～11月活動報告
・メディア戦略委員会よりお知らせ
- 12 新入会員紹介
- 13 次年度理事長予定者挨拶
編集後記

Contents

忘新年会プランはこれで決まり!

世大好評! 幹事さんらくらく! 食べ放題コース

さらに 仙台牛すき鍋 が付いて!!

利用時間 120分

お1人様 **3,150円** (税込)

料理内容
・仙台牛すき鍋・キムチ盛合せ・ソフトカルビ・ジュシーカルビ・塩コロ牛たん・豚カルビ・豚ホルモン・焼き野菜・香味サラダ・サンチュ・ライス・スープ

追加メニュー
・ソフトカルビ・ジュシーカルビ・塩コロ牛たん・豚カルビ・豚ホルモン・香味サラダ・ライス・スープ

プラス 食べ放題コースをご注文のお客様に限り

1,050円 (税込) で 飲み放題付き!

飲み放題メニュー
・生ビール・焼酎・ハイボール・日本酒・サワー・カクテル
・ソフトドリンク各種

男性におすすめ! 飲み放題付きプラン

焼肉たっぷりボリューム満点

東山コース 3,675円 (税込)

料理内容 利用時間120分
・ナムル盛合せ・キムチ盛合せ
・国産牛バラカルビ・ソフトカルビ
・ジュシーカルビ・塩コロ牛たん
・豚カルビ・豚ホルモン・野菜焼き
・ムンチュサラダ・ライス・スープ

女性におすすめ! 本場韓国料理スタイル

韓流コース 3,675円 (税込)

料理内容 利用時間120分
・海鮮チヂミ・ブデゲ・キムチ盛合せ
・ソフトカルビ・ジュシーカルビ
・塩コロ牛たん・豚カルビ・豚ホルモン
・野菜焼き・ムンチュサラダ
・サンチュ・ライス・スープ

学生限定プラン

学生限定食べ飲み放題

満腹コース 2,100円 (税込)

料理内容 利用時間60分
・ジュシーカルビ・豚カルビ
・塩コロ牛たん・香味サラダ
・ライス・スープ
・ソフトドリンク飲み放題付き

追加メニュー
・ジュシーカルビ・豚カルビ
・塩コロ牛たん・ライス・スープ

おまかせフリーコース

2,625円 (税込)

お客様のご予算・ご希望に合わせてメニューをお作りいたします。

飲み放題

●アルコール飲み放題 **1,575円** (税込)

●ソフトドリンク飲み放題 **525円** (税込)

※ラストオーダーはご利用時間30分前になります。

理事長挨拶

未来に向けた一歩を踏み出さあいこう！
～すべては子どもたちの笑顔のために～

多くの皆さまのご支援とご協力を頂戴致しまして、2011年度の仙台青年会議所の活動が終わりを迎えようとしております。創立60年を迎える節目の年に、国難と言われる東日本震災並びに原子力発電所事故が被災し、これまで連続と受け継がれてきた経験と地域に貢献する覚悟を持ったリーダーを育成する組織としての力強さが問われた年となりました。そのような中で、仙台青年会議所では震災直後から対策本部を設置し、被災地の支援活動や被災者の皆さまに対する救援活動を実施してまいりました。

しかし、被災地ではいまだに不自由な生活を強いられる方が少なくありません。被災地の復興には、経済的に自立しながらも地域のより良い未来のために、尽力する覚悟を持った青年の行動力が必要だと確信しております。2012年度も仙台青年会議所と致しましては、必要な支援活動を続けながらもこれまで同様に、明るい豊かな社会の実現を理想に掲げ、中長期的な視点を持った運動を展開してまいります。

2012年度も仙台青年会議所にこれまで同様のご指導とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



2011年度 公益社団法人 仙台青年会議所 さいとう たかし 理事長 齋藤 孝志

六丁の目店 TEL/022-288-4129 FAX/022-288-4343

仙台市若林区六丁の目東町7-60(東部道路東インターそば)

営業時間 AM11:30～PM11:00 (ラストオーダー PM10:30)

客席数/250席
ご宴会は 4名から80名様までOK
100台収容駐車場完備

仙台駅前店 TEL/022-214-4129 FAX/022-214-4343

仙台市青葉区中央2-1-27 [キャピタル中央B1] (クリスロード入口)

営業時間 AM11:30～PM11:00 (ラストオーダー PM10:30)

客席数/110席
ご宴会は 4名から40名様までOK

長町駅前店 TEL/022-746-4129 FAX/022-746-4343

仙台市太白区長町5-13-27(UR長町駅すぐそば)

営業時間 AM11:30～PM11:00 (ラストオーダー PM10:30)

客席数/280席
ご宴会は 4名から120名様までOK
80台収容駐車場完備

焼肉レストランひがしやまは、飲酒運転撲滅に取り組んでいます。

●要予約 10名様～200名様
●宴会コースご注文の方
●市内一円・近郊まで

無料送迎バス有り



3月11日 雄勝中学校卒業式 この数時間後に、この体育館はすべてが流された



「怒りや悲しみを喜びや楽しさで包み込む」という想いを込めた喜怒哀楽ののぼり。その想いを胸に活動続ける雄勝中学校関係者の皆様と齋藤理事長、金ヶ崎委員長

震災によって子どもたちの夢を変えさせたくない

公益社団法人仙台青年会議所 対談インタビュー

雄勝中学校 校長 佐藤 淳一
 2011年度公益社団法人 仙台青年会議所 理事長 齋藤 孝志

3月11日卒業式当日 震災発生

東日本大震災によって甚大な被害を受けた石巻市雄勝地区。震災から約40分後、巨大な津波が雄勝湾に押し寄せ、地域を一気に飲み込んだ。

雄勝中学校と仙台青年会議所は昨年開催した公開例会の繋がりによってできた御縁があり、甚大な被害を受けたとの報を受けた仙台青年会議所では、理事長を先頭に学校給食支援などを継続して行ってきた。

震災発生から9カ月。当時の状況を改めて伺うことは、地域と向き合い続ける私たちにとって非常に大きな意味を持つに違いない。

そこで今回は震災・津波被害のすべてを体験し、教員・生徒・父兄一丸となって乗り越えてきた雄勝中学校校長・佐藤淳一先生をお迎えし、改めて当時の状況を振り返っていく。

齋藤

震災によって子供たちの夢を変えさせたくない。ということをテーマに震災発生直後からこれまでに佐藤校長が行ってきた活動や、震災当時の想いなどを聞かせてください。よろしくお願いたします。まず、3月11日に震災が発生した時には学校にいらしたとお聞きしていましたが、校長先生はどのような行動を取られたのでしょうか。

佐藤 3月11日は、雄勝中に赴任して最初の卒業式ということで、心を込めたものにしてしまうと連日連夜、準備を重ねて、実際に心に残る卒業式となったのですが、結局それが雄勝中で最後の卒業式になりました。数

時間後には体育館ごと全てが流されたのです。当日は卒業式を終えて13時30分から14時頃迄には生徒は全員下校しており、その後、職員で昼食を取り、片付けの途中で一息していた時に、激しい揺れが来ました。子どもたちは全員下校していたので、誘導して避難させたということはありませんでした。ただ、子どもたちがいる場合はここへ避難するとか、職員だけならここへ避難するとか、シミュレーションを組んでおりましたので、実際に子どもたちがいれば、マニュアル通りに屋上へ上がるとか裏山へ逃げるという状況でした。しかし、当日の揺れが激しくて、学校が崩落する恐れがありましたので、もし子どもたちがいたとしても屋上や3階へ逃げろという指示は出さず

仮の職員室を設置し、そこを拠点に動き出しました。

全校生徒77名全員の無事確認

齋藤 そうでしたか。実に8日間掛けて、子どもたちの無事確認を行ったとお聞きしましたがその状況を詳しくお聞かせいただけますか？

佐藤 3月19日19時6分に全員無事との無事確認が取れたのですが、それまでも全員が無事であった欲しいとの願いから眠れない日々が続きました。地震当日、「津波直前まであそこにあの子はまだいたよ」とか、様々な情報が入ってくる訳です。仙台の荒浜などの情報も入っています、それらが凄惨な情報ばかりで、本当に8日間眠れない日々でした。そんな中で全員の無事を確認した時は本当に嬉しくて、今夜はちゃんと眠れると思いましたが、安堵感と同時に今後の子どもたちへの接し方ももちろんのこと、学校教育としてできることは何があるのかと悩み、結局は一睡もできませんでした。

齋藤 我々も現在189名のメンバーがいて、自宅や会社が沿岸部にあるメンバーもいますので、メンバー全員の安否

確認が取れるまで仙台の中心部にいても4、5日掛かりました。佐藤校長も学校を預かる責任者として子どもたちの安否というのは頭から離れない大きな問題ですね。

佐藤 そうですね。犠牲になつた子どもが0か1かというのは非常に大きな差です。我々が19日から前へ前へと動き出したのは、全員の無事が確認できたことが非常に大きかったです。

齋藤 無事確認を行って、当然、子どもたちはそれぞれの家族の元、各避難所で過ごしていく訳ですが、それから一定の期間が過ぎまして、次は学校として行動を執られる流れの中で、職員の方々はどのくらいの時期に集まってきたのでしょうか。

佐藤 19日の段階ではもう職員は集まっておりました。私は最初に一人で山の仮設の職員室に入り、そこで寝泊りをしながら職員と連絡を取り、無事確認をしたのですが、19日の夜には全員の無事を確認することができました。翌日の3月20日を「再生の日」とし、3月22日には生徒を集めました。これはかなり無謀なこととは思いますが、とりあえず生徒全員を集めようと、全員が無事なのだろうか。



3月19日に「19:06 全員無事確認」の書き込みが残るカレンダー

に裏山へ逃げたと思います。子どもたちはいなかったため、職員は車に乗って裏山へ逃げました。ただ本来、宮城県沖地震が発生した場合、雄勝中には10数分で津波が到達するという予測がありました。もしその通りだったら、我々職員も子どもたちも、本当に多くの犠牲が出ていたと思います。しかし、残念ながら職員が1名亡くなりました。私たちは奇跡的に裏山に避難することができ、難をのがれることができた。子どもたちもバラバラに帰宅していたに

も関わらず、77名の在籍生徒全員が無事でした。普段から学校に津波が来ることを想定した避難訓練を行っていたわけでは無いのですが、地域としての意識が高かったのだと思います。

齋藤 職員の方々は一旦避難するようなかたちで、それから生徒の無事確認を行うことになると思いますが、どこに拠点を置いたのですか。

佐藤 雄勝森林公園という場所に、私たちや地域住民の方々や子どもたち10数名が避難してきていました。そこで、避難してきた子どもたちのケアをしなから無事確認をしていました。また雄勝は完全に孤立しており、支援とかは当然来る状況ではなかったため、地域の方々が持ち寄った米とか味噌で料理を作り、子どもたちにそれを分け与えるといった状況でした。ただそこにいるだけでは、全体の情報が入って来ない訳で、あとは子どもたちが避難してくることはないだろうと考え、一旦峠を越えて私たちは雄勝を離れました。その間に子どもたちの名簿を作成し、この名簿で探していこうと、別の職員が峠を越える範囲で無事確認をしていました。そして雄勝の方が一番多く非難している飯野川中学校に

齋藤 私が最初にここに来たときに見せて頂いた、学校から離れた場所で見つかったという泥だらけの校旗ですね。

佐藤 はい。今は泥だらけですけど、(震災当日の)卒業式には壇上に飾られていた校旗です。まだ、全然洗っていないのですが運命的なものを感じ、「これをシンボルにするぞ!」ということと連絡を取って3月22日を集合日としました。結構、子どもたちは集まったのですが3月24日にも集合日を持ち、そこから毎週木曜日をずっと集合日としました。1週間に1回集まるのは大変ですが、後から保護者や生徒に聞くとそれが張り合いになったというのでしょうか、避難所でただ毎日何もすることがなく過ごしていて、でも1週間に1回集まれば色々な情報が入ってきたり、後は部活動をやったり、無謀にも練習試合を組んだり、(道具も)何も無いのに(相手から)全部借りてやったり。(笑)やはりそれができたのは、全員が無事だったという奇跡があったからですね。

齋藤 今の動きや時間の設定や場所などというのは、例えばこちらのエリアですと石巻市教育委員会、もしくは宮城県教育委員会などからの一定の指針で動いていたのか、それとも佐藤

佐藤 現在は54名です。齋藤 54名ですか。私の想像では54名という人数は多いのではないのでしょうか?

齋藤 なるほど。77名の子どもたちは当然、保護者の仕事関係などで雄勝を離れたり、色々あると思うのですが、現在の生徒数は?

齋藤 そうですね。最初は51名集まりました。あの壊滅的でバラバラになった中でよく集まってくれたと思います。その後、3名が戻って現在の生徒数になりました。しかし、残念なことに震災による家庭の事情で雄勝を離れた子どもたちもいます。

齋藤 そうだったんですか。佐藤 それでもやはり、ここで中学校生活を送らせたいという保護者の想いがあり、多くの子どもたちが集まってくれました。最初は古川から通っている子どももいましたので、それに応えるだけの学校運営をしたいと、しなきゃなと思っていました。

齋藤 先生方がそういう想いがあると、それは子どもたちに必ず伝わり、お互いに得ているものがあると思います。我々も雄勝中との出会いのきっかけは長田先生(注1)であり、そして以前に講演をして頂いた藤原先生(注2)、具体的に、直接のやりとりをさせて頂いたのは立花さん(注3)です。そういった様々な縁がありました。仙台青年会議所が今やろうとしていること、子どもたちの笑顔のために、子どもたちに何が出来るのだろうという支援を模索している中で、藤原先生から「一

らつしやるので色々な考えもあるでしょうし、そのような中で子どもたちを集めることはどうなのかという部分が少なからずあったと思いますが、それに伴い子どもたちのコミュニケーションが向けて歩むという部分では、とても素晴らしい決断をされたのだと感じますね。

佐藤 集合日の3月31日に離任式を行ったのですが、卒業式前に津波が来てしまったことで、卒業式をできなかった学校もありました。ましてや離任式なんかは教員側の都合で離任していく訳です。教頭と養護教員が離任するのですが、二人とも3日間、子どもたちと一緒に夜を過ごして頂きましたし、震災後はずっとメンタルケアをしなから、ともに頑張ってきた仲間でした。様々な想いを残して離任する方ですから、その想いを(子どもたちに)伝えてほしいということと、これも強行するかたちで行ったのですが、子どもたちと保護者を合わせて100人以上来てくれたんですよ!

齋藤 そんなに多くの方が集まったのですか!

佐藤 その頃には保護者の方々も山の避難所からどんどん移動してきて、徐々にこちらに集まり始めていました。どこに雄勝中学校が拠点を持つのか?それが保護者や子どもたちの関

心事でした。私は水面下で色々動いていまして、とにかく今は地域の方々が一番多く非難している場所が飯野川だということと、ここに仮校舎を設置する方向で動いていた訳です。

齋藤 そうですか。この仮校舎の近くのビックバン(石巻市河北総合センター)にも雄勝の方々が多く避難されていたということでしたよね。

佐藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうです。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。



校長室に貼られている「雄勝中学校 再生から新生へ」の写真



3年生の夢は「志望校合格」

3月31日 離任式

佐藤 集合日の3月31日に離任式を行ったのですが、卒業式前に津波が来てしまったことで、卒業式をできなかった学校もありました。ましてや離任式なんかは教員側の都合で離任していく訳です。教頭と養護教員が離任するのですが、二人とも3日間、子どもたちと一緒に夜を過ごして頂きましたし、震災後はずっとメンタルケアをしなから、ともに頑張ってきた仲間でした。様々な想いを残して離任する方ですから、その想いを(子どもたちに)伝えてほしいということと、これも強行するかたちで行ったのですが、子どもたちと保護者を合わせて100人以上来てくれたんですよ!



雄勝中学校の生徒の皆さん

佐藤 仙台や岩手などの県外に居た方々も皆集まってきて、そのときに保護者の方々が、「雄勝の人たちの感動的な雰囲気がとてもよかったです。やはり中学校生活を雄勝中で送らせたいと思った。」と声を掛けてくださって：ですからこれもやはりやってよかったです。

齋藤 なるほど：そうですね。佐藤 その頃には保護者の方々も山の避難所からどんどん移動してきて、徐々にこちらに集まり始めていました。どこに雄勝中学校が拠点を持つのか?それが保護者や子どもたちの関

心事でした。私は水面下で色々動いていまして、とにかく今は地域の方々が一番多く非難している場所が飯野川だということと、ここに仮校舎を設置する方向で動いていた訳です。

齋藤 そうですか。この仮校舎の近くのビックバン(石巻市河北総合センター)にも雄勝の方々が多く避難されていたということでしたよね。

佐藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうです。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

齋藤 そうですね。その近くの飯野川中や飯野川第一小にも(雄勝の方々が)数多く避難していたので、ここしかないと思いました。

子どもたちの現状

齋藤 当時から振り返って、子どもたちの現状と言いますか、今どのような状況ですか。佐藤 子どもたちの多くは全員仮設に入りましたので、とりあえず生活の拠点は整いつつある状況です。雄勝中は本当に多くの方々へ支援に来て頂いて、そういった方々に子どもたちが心を開けるようになっていきました。今まではどちらかというと僻地

(注1)長田 徹氏…文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室 連携支援係 係長 (注2)藤原 和博氏…大阪府知事特別顧問/東京学芸大学客員教授 (注3)立花 貴氏…(合)四緑代表



タイヤで作った太鼓だから雄勝中学校では「輪太鼓」と呼んでいる

雄勝中学校の輪太鼓

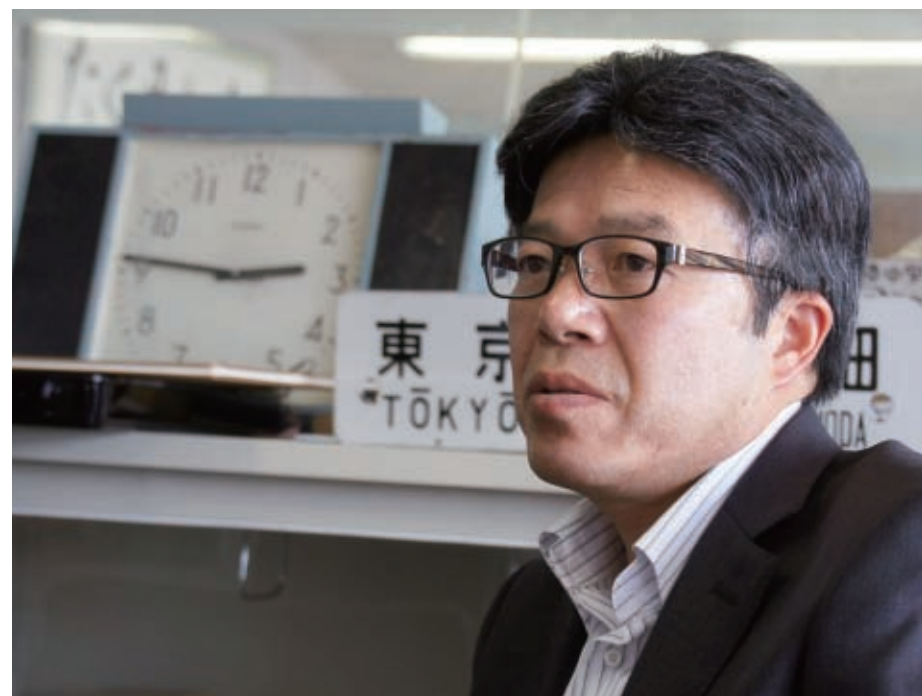
齋藤 最近、報道などで、雄勝中が行っている太鼓の話が出てきますが、そもそも太鼓は何かでやっていたのですか？

佐藤 元々、子どもたち10名くらいは、地元で太鼓をやっていました。それ以外では総合学習の中に太鼓のチームがありました。それを私は全員でやりたいた。最初、その太鼓の指導をして頂いていた保存会の方が家から流されて仙台でアルバイトしていたので、とても太鼓を打てる状況じゃありませんでした。私がおの方にお願いしたとき

は、今年も太鼓の指導をお願いしたいって言うんですけど、またどこかの授業の一環でやるのだろうと思っていたんですけど、私はまだ何にもないけど全員でやりたい、週2回来てほしいのです。その方も生活がかかっているので、気持ち伝わり、指導にも来て頂けて、なんとか完成しました。

齋藤 タイヤで太鼓を作るというアイデアはどこから？

佐藤 これはですね、夢の温泉一泊旅行というのがありまして、とにかくみんな避難所暮らしで、堅い床でいつも寝ているので、子どもたちにふかふかの布団で寝かせてあげたいと、私が子どもたちを秋保に連れて行ったのです。夕食後、子どもたちに全員で太鼓をやりたいんだという話をする訳です。そこで私が「最初はダンボール叩いてもいい。そのうちに(太鼓が)1個、2個届くよ。そうやっていこうよ。木を叩いてもいいよね。」と想いを伝えていたら偶然、旅館の方からタイヤの太鼓を昔、小学校でそういうことをやった、作った記憶があるとお聞



佐藤淳一校長 背景の時計は雄勝中学校の校舎にあったもの 14時46分で止まったまま

にある学校のためか心を閉ざしている子どもが多く、人とのコミュニケーションについて自信をつけてきているかなと思いません。

齋藤 私が最初に来たときに驚いたのは、子どもたちが大きな声で挨拶してくれたことです。校庭でサッカーをしている子と野球をしている子がいて、

先生がいらつしゃって、野球部の顧問の先生だったと思うのですが、子どもたちが遠くから、凄く大きな声で挨拶してくれて、それが第一印象です。礼儀の正しさというか、「ああ、いいなあ」と。ちょっと前の我が子が子どもの頃のような、そういう学校もたくさんあるのじゃないかな、凄く思ったのは、我々

が想像している今の中学生というのは我々の勝手な想像であって、しつかり子どもたちと向き合うと全てがそういう訳ではないというのを垣間見たと言います。我々も青少年育成事業を行っているのですが、なかなか我々が中学生と触れ合う機会がない。そのため中学生という想像の域を超えないので、そのような意味では本当に良かったなと感じましたね。

佐藤 うちの子どもたちは至って素直ですね。純粋な部分もあるし、ただその関わっていて仙台の言葉で言うところ、「めんこい」んですよ。

齋藤 はい。そうですね。

佐藤 情が入りますよね。これはどこの学校でも同じだと思うのですが、我々は教師ですから、もつと関わってあげたいと思います。どうやってその子たちを支えてあげられるのかという想いですね。

齋藤 それは震災前もそうでしたし、震災が起きてからますます強くなったことですね。

佐藤 本当に大変な経験をして、あの子たちは色々な想いを背負っている。これを「支えていくぞ！守っていくぞ！」という想いですね。ここに入ってくる子どもたちは、このような経

復興の光

齋藤 地域の子どもたちが頑張っている姿は、地域の活力になりますよね。我々も、これからは色々な支援・支援と言った言葉がおかしいかもしれないですけど、宮城は我々にとつてふるさとでありますから、やはり地域再生というのは、我々のような世代がもつとビジョンを持つて創っていくものだと思うのです。それが今まではあまり効果的に発揮されていっていません。今回の震災を受けて、地域のあり方や我々の生き方というのを、我々の世代自身も見直していると思います。私自身ももつと新しい未来を創るチャンスが、まだまだあると思います。そういう意味では我々も模索をしながら、未来を創っていくと思えますし、また色々な部分で教えて頂ければと思います。

佐藤 こちらの方こそ、ご支援頂いたことに感謝申し上げます。一番苦しかったあの当時、私を感じたのは人間としての、捨てたものじゃないなど、

験をしてしまったんですから。

校訓 「たくましく生きよ。」

齋藤 テーマが「子どもたちの笑顔」ということで、今、子どもたちの笑顔は取り戻せてますでしょうか？当時と変わらないうことで大丈夫なんでしょうか？

佐藤 3年生は受験を控えており緊張感が出てきています。が、それでもうちの子どもたちは毎日楽しくやっていますね。職員室に「喜怒哀楽」ののぼりがありますけど、要するに怒りや悲しみを喜びや楽しさで包み込んでしまってますよ。そこを小さくしてしまおう。そんなうちのスタイルでやっていきたい。「とにかく笑顔！毎日楽しいことをやっていこう！」というのがうちのスタイルなので。

齋藤 喜びや笑顔が、悲しいことや辛いことを超えますよね。子どもたちの将来やこれからの成長について、先生の想いを今回の震災を踏まえて、震災前からの変化という部分でもお聞かせいただければと思います。

佐藤 震災後に、校訓を「たくましく生きよ。」に変えたように、本当に被災した以上は仕

方がないので、それを乗り越える力を持って、負けないで生きていってほしいです。雄勝中を卒業したことがコンプレックスではなく、この地域で生まれて育つたこと、今回経験したことを含めて、彼らのこれからのエネルギーに変えて、日本をリードするくらいに。やや閉塞感のある日本社会ですから、こういう子どもたちこそ、人の痛みや苦しみが分かり、そして支え合って行くことが、どれくらい大事かということが分かり、体感している訳ですよ。体感している訳ですから、あの子どもたちこそいづれ日本を背負って行く人たちになってほしいなと、本当にたくましく、生きていってほしいなと思います。



校訓「たくましく生きよ。」のTシャツ

今までは社会も閉塞感があった、嫌なニュースばかりあって、日本が暗澹たる状況でした。今も、大変なことは大変ですけど、でもあのとき、支えたり支えて頂いたりして、頑張っていきたいよと…その姿を見て「人間っていいな」と、本当に思いました。出会いがあつて、こういうときにこうやってみんなを支え合っているのだなと。それを我々教員もだし、子どもたちも実感しました。特に子どもたちは将来、絶対に何かを返

していつてくれるし、力を発揮してくれると思っています。期待をしている訳ではないのですが、きっとあの子たちは、ほかにはない貴重な体験をしているのですから。

あの子たちこそが本当に復興の光だと思えます。光です。

齋藤 雄勝中から地域を牽引するリーダーが出ていいたら、非常に楽しみです。本日は貴重なお時間を割いて頂きましてありがとうございます。

対談者プロフィール



佐藤 淳一
雄勝中学校 校長
さとう じゅんいち
1960年生まれ 51歳

経歴

- 1982年／仙台市立五橋中学校初任
- 2000年／宮城教育大学附属中学校教頭
- 2006年／仙台市立西山中学校教頭
- 2008年／仙台市教育委員会 主任指導主事
- 2010年／現職



齋藤 孝志
2011年度 公益社団法人 仙台青年会議所 理事長
さいとう たかし
1975年生まれ 36歳

経歴

- 2000年／仙台青年会議所入会
- 2001年／例会委員会 委員
- 2002年／七夕花火祭特別委員会 幹事
- 2003年／総務委員会 幹事
- 2004年／メンバーシップ向上委員会 委員
- 2005年／キャリアビジョン開発委員会 副委員長
- 2006年／国際力推進委員会 委員
- 2007年／例会委員会 副委員長
- 2008年／会員開発委員会 委員長
- 2009年／事業室 室長
- 2010年／副理事長
- 2011年／理事長

2011 Activity Report 活動報告

第42回仙台七夕花火祭 8/5 (金)

今年は東日本大震災の影響で、日本各地ではお祭りや花火大会の自粛による中止が続きました。仙台七夕花火祭も開催が危ぶまれましたが、関係各所の多大な協力と市民の皆様からの熱い開催要望があり、被災地の仙台から、復興の狼煙として花火を打ち上げ、日本に元気を発信するという強い想いのもと、テーマを「絆」笑顔の輪を未来へ」とし、規模を縮小することなく、例年通り16,000発の花火を無事に打ち上げる事ができました。

今年は例年、ご協力頂く市民ボランティアの方が想像を超える400名以上集まり、仙台七夕花火祭の開催にご協力頂きました。打ち上げ会場近くには「絆シート」を設け、被災した宮城県沿岸部の子どもたち約300人を招待しました。今年も大盛況のもと、安全でクリーンな仙台七夕花火祭りとなりました。



▲事故もなく、安全でクリーンな第42回仙台七夕花火祭が終了



▲市民の皆様の笑顔



▲今年は、400名を超える市民パートナーの皆様が参加



▲翌日早朝6:00からはクリーン作戦で街の大掃除



▲訪れた観客は45万人

第7回例会 開催 7/14 (木)

7月14日(木)に第7回例会「我らJAYCEE! 広げようこの想い!」を行いました。東日本大震災後、初の本例会では、JAYCEEとして「私にもできる」、「私が行動していかねばならない」という意欲と意識を創出し、始まったばかりの復興に対して率先して行動していくために、阪神・淡路大震災時には復興対策プロジェクトチーム座長代理を務められた、鴻池祥肇先輩をお招きしご講演頂きました。



▲鴻池先輩、ご講演の様子



▲会場の様子

第24回国際アカデミーin富山 (仙台プログラム) 7/4 (月) 7/8 (金)

7月4日(月)～7月8日(金)までの5日間、第24回国際アカデミーin富山が開催されました。国際アカデミーでは、JCI(国際青年会議所)に所属するメンバーが、海外、国内から約120名集結して、青年経済人としての研修を行う事業です。今年の研修では東日本大震災が発生したため、海外のJCIメンバーが仙台に来仙して、被災地支援プログラムが行われました。



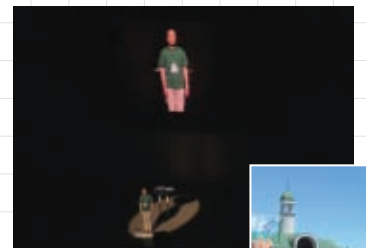
▲国際アカデミーに参加した海外JCメンバー60名一人一人から応援メッセージ



▲海外JCメンバーと青年会議所メンバー

サマーコンファレンス2011 7/16 (土) 7/17 (日)

7月16日(土)、17日(日)にパシフィコ横浜にてサマーコンファレンス2011が開催されました。「10年先の日本へ」ともに歩もう確かな一歩」をテーマに震災から復興するための気概、方策を確認し、さらに大きな枠組みとして次世代に向けてどのような「日本」を作るべきか、を会員に問いかけるものでした。セミナーを通じて各々が10年先の日本を考えることができた有意義なものとなりました。



▲2011年度 公益社団法人 日本青年会議所 福井正興会頭の挨拶



▲齋藤理事長と 仙台青年会議所のメンバー

第2回通常総会 開催 9/16 (金)

9月16日(金)仙台アークホテルにて、2011年度仙台青年会議所第2回通常総会が開催されました。総会内では上半期の事業報告が各会議体、委員会から報告がありました。また、次年度理事予定者が発表、2012年度理事長予定者に茂木宏友君が満場一致で可決承認されました。今年度残り3か月半、次年度へ向けた新しいスタートが切られました。



▲2012年度理事長予定者に承認された茂木 宏友君



▲会場の様子

第60回全国会員大会(名古屋大会) 9/29 (木) 10/2 (日)

9月29日(木)から10月2日(日)にかけて名古屋の地で第60回全国会員大会名古屋大会が開催されました。テーマを「尊敬される日本」とし、全国の会員が相互に尊敬される日本を創るために必要なことを共に考え、共有することができると有意義な場となりました。本年度の卒業生も多く参加し、最終日の卒業式では感動のあまり涙を流す卒業生も数多くおられました。



▲アワードセレモニー開催



▲会場の様子

東北青年フォーラムin花巻 9/3 (土) 9/4 (日)

9月3(土)、4日(日)の2日間、2011年度公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会東北地区会員大会東北青年フォーラムin花巻が開催されました。今年の東北青年フォーラムのテーマ「イーハトーブ実現への想いを胸に!」強く逞しい「自立できる東北」の創造に向けて」を掲げて始めました。また、2012年度東北地区協議会会長予定者として、仙台青年会議所の植松悟君が紹介されました。



▲パネリストの渡邊 美樹氏、福島県浪江町 町長の馬場 有氏 参議院議員 地域主権型道州制国民協議会 会長の江口 克彦氏、2011年度東北地区協議会会長 高宮 光敏君



▶木村 俊昭氏によるご講演タイトルは「復興とは地域の全体最適化」

第41回 宮城ブロック会員大会 in 南三陸

10/29 (土)

10月29日(土)に南三陸町で第41回宮城ブロック会員大会 in 南三陸が開催されました。南三陸町の青年を中心としたアマチュアバンドと青年会議所が「宮城の復興は宮城に住む者の手で！」を合言葉に、音楽祭「HOPEフェスティバル in 南三陸」を企画致しました。当日は、参加いただいたバンドの復興への想いを込めた素晴らしい演奏が、秋晴れの夜空に響き渡りました。



▲アマチュアバンドのステージ

▶東北地区協議会、宮城ブロック協議会の役員の皆様

第66回 JCI世界会議(ブリュッセル大会)

11/1 (火) から 11/5 (土)

11月1日(火)から5日(土)までベルギーブリュッセルにて開催された、2011年JCI世界会議に参加しました。総会では、国際アカデミー委員会へ出向の、杉山委員長が世界のメンバーへ報告を致しました。また、ジャパンナイトの仙台青年会議所ブースでは、震災支援をして頂いた世界中のメンバーにパネル展を通じ、感謝を述べてきました。



▲総会で国際アカデミー委員会の報告をする杉山委員長

▶KANPA仙台プロジェクトを立ち上げ多額の寄付をしてくれたオランダJCメンバー

第10回公開例会 開催

9/16 (金)

9月16日(金)に第10回公開例会『笑顔あふれる音楽会』を音楽で繋げるみんなの絆を、音楽が人へもたらす効果を改めて学び体験することで、参加者の皆様に元気になって頂きたいと想い開催致しました。「音楽はみんなの友だち」と題し音楽療法士の猪狩裕史氏にご講演を、「にっこにこドラムカフェ」と題し(株)ラムカフェジャパン様にジェンベというアフリカの太鼓による元気の出る演奏を披露して頂きました。



▲第1部の講師を務めていただいた講師 猪狩 裕史氏

▶第2部は「にっこにこスマイルドラムカフェ」

第11回公開例会 開催

10/15 (土)

10月15日(土)に第11回公開例会『スポーツから生まれる笑顔と絆』を開催致しました。本例会は仙台89ERSの全面協力で、小中学生を対象に選手からの直接指導や試合を通して、子どもたちには選手とふれ合うことで明るい未来と、大人たちには子どもとの絆について考える機会となりました。同時に保護者を対象に「子どもとの信頼関係の築き方」と題し、阿部良樹先輩にご講演頂きました。



▲仙台青年会議所OBで空手塾にて子どもたちの育成をされている阿部 良樹先輩の講演

▶仙台89ERSの選手指導のもと練習

第12回公開例会 開催

11/12 (土)

11月12日(土)に陸上自衛隊多賀城駐屯地内で第12回公開例会、あの時ぼくたちが大人だったから地域を守った活動に学ぶくを開催致しました。本例会は子どもたちを対象に東日本大震災発生時の行動と、その後の様々な支援活動について、地元自治体で支援活動を積極的に行われてきた中野地区4町内災害対策委員会委員長の高橋實氏と陸上自衛隊多賀城駐屯地司令の國友昭氏にご講演を頂きました。



▲高橋 實氏によるご講演

▶自衛隊の皆様へ感謝の気持ちを寄せ書きに添えました

仙台青年会議所メディア活動

メディア戦略委員会では、仙台青年会議所の活動を、より多くの市民の皆様にご覧いただくため、メディアの方々に招待し、2回の記者発表会を開催しました。また、市民の皆様もご参加いただける、公開例会のPRのため、各公開例会の担当委員長が、J・C・O・M仙台キャベツ「HOME TOWN 大好きだっちゃ!!」に出演しました。



▲記者発表会会場の様子

▶仙台89ERS日下選手と公開例会「スポーツから生まれる笑顔と絆」のPR

2011 仙台青年会議所 活動報告の詳しい内容は仙台青年会議所 公式ウェブサイト!!

http://www.sendai-jc.or.jp 仙台 JC 検索

公益社団法人 仙台青年会議所 facebook はじめました http://www.facebook.com/jcisendai いいね!

Advertisement for Money School Sendai (マネースクール仙台) featuring Life Plaza Partners. It includes details about courses for business owners, dates, and contact information.

2012年度 公益社団法人仙台青年会議所 新入会員紹介



石田 英誉 (いしだ ひでたか)
株式会社 FLOW-HIDE
JC活動を通し三信条の「修練 奉仕 友情」を胸に、様々なことを学び成長することで一生の仲間を沢山増やしていきたいと思っています。



石井 玲穂 (いしい れいほ)
株式会社 EcoLife
JCでいると積極的に参加、経験を積み重ね、会社や社会などで少しでも貢献できる人間になれるように頑張りたいです。



石井 健人 (いしい たけひと)
株式会社 TEサーブ東北
短い期間で信頼のおける友達が何人も増えました。これからもJC活動を通して、たくさんの人達と絆を深めていける様に頑張りたいです。



菅崎 紳 (かんざき しん)
かんざき歯科医院
「明るい豊かな社会」の実現のため、また自分の可能性を拓けるために自覚と責任をもって様々な運動に取り組んでいきたいと思っています。



岡田 真貴 (おかた まき)
株式会社 ヒロキャリアスタッフ
何事にも積極的・前向きに、頑張っ取り組んで参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



遠藤 正巳 (えんどう まさみ)
株式会社 エイチ・アイ・エス
JC活動において、視野を広げ、明確な考えと柔軟性を意識し自らが成長できるような積極的JC活動に進んで参ります。



佐々木 拓也 (ささき たくや)
株式会社 ミスエ企画
物事を自分の目でしっかりと見つめ、判断し、JCを通して大きく成長したい。自分のカラーでJCを色付けしたい所存です。



後藤 亜妃 (ごとう あい)
後藤さもの教室
地域を想う心、仲間を想う心を強く持って、社会の中での青年として、子供達にとっての大人として、一杯頑張っていきたいです。



栗原 将光 (くりはら まさみつ)
株式会社 盛総合会計
これまでの研修を糧に公益社団法人としての自覚を持ち、皆さんから沢山の教えを頂きながら、自分らしく成長していきたいと思っています。



高橋 洋人 (たかはし ひろと)
株式会社 Sola.com
天の我に求むるところを素直に感じ、受け入れ。そしてそれに打ち込んでいけるような真摯な企業家を目指したいです。



鈴木 佳奈 (すずき かな)
有限会社 聖建設
JCに参加し、社会貢献の活動などを通じて地域の皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っています。



佐藤 利勝 (さとう としかつ)
有限会社 船勝佐藤
宮城野区で寿司屋を営んでいます。半年遅れての入会になりましたが、「明るい豊かな社会」の実現のため頑張っていきたいです。



中尾 裕之 (なかお ひろゆき)
株式会社 フルキャストアドバンス
公益社団法人の一員として、JCを通じ、ちょっとふりして、皆と苦楽を分かち合い「明るい豊かな社会」の実現に向けて頑張ります。



武田 文孝 (たけだ ふみたか)
株式会社 橋本店
三信条を心に積極的参加を実行し、4年という短い期間を有意義に過ごせるように頑張っていきたいと思っています。



竹田 将一 (たけだ まさかず)
松本事務機株式会社
JC活動を通して自己研鑽に励みながら少しでも地域社会に貢献出来るように頑張っていきたいです。



古川 勇 (ふるかわ ゆう)
株式会社 コアステージ
東京に拠点を置いていましたが、今年から生まれ育ったこの仙台で身を置く事に決めました。元気一杯頑張っていきたいと思っています。



布施 龍一 (ふせりゅういち)
特定非営利活動法人フェアトレード東北
仲間のため、自分のため、JC活動、JC運動頑張ります。



藤島 一徳 (ふじしま かずのり)
有限会社 藤島
宮城の僻地から、何も分らず飛び込んだ仙台JC。日々勉強と想い、喜んでやらせて頂きます。



結城 創 (ゆき しょう)
中城建設株式会社
JC活動を通じて、同じ目的を持つ仲間と地域社会への貢献や、自分自身を成長させ磨いていきたいと思っています。



三浦 信也 (みうら のぶや)
株式会社 エーゲンシー
残されたJC活動を、悔いのないように三信条の精神を胸に、ここで出会ったメンバーとともに、飛躍できるように頑張りたいです。



堀内 周光 (ほりうち のりみつ)
未来テクノス株式会社
地元の宮城県をより良い県にできるよ、奉仕の気持ちを持ったJCの仲間と友情を深め、常に向上心を持ち修練に励み続けます。



米田 美由喜 (よねだ みゆき)
有限会社 ラビアンジョワ
仮会員期間に学んだ事を活かし、JC三信条を胸に自分にできることを考え、自ら進んで行動できるよう努めていきたいと思っています。

次年度理事長予定者挨拶

公益社団法人仙台青年会議所第61代理事長を拝命することとなりました茂木宏友と申します。

本年3月11日に発生した東日本大震災以降、仙台青年会議所としても年間の事業計画を変更して被災地支援に取り組みまいりました。仙台の中心部は復興が進み、震災の傷跡があまり感じられない状況になってきておりますが、被災の大きい沿岸部では、まだまだ復興には時間がかかる状態です。日本の青年会議所運動は、戦後を生き残った青年が抱いた「新日本の再建は我々青年の仕事である。」との志から始まり、理想とする「明るい豊かな社会」の実現をめざして、歴史を紡いでまいりました。2012年度は、青年会議所の創始の理念を胸に刻み、震災前の地域を取り戻すことを出発点としながらも、青年会議所が理想とする社会を実現するために活動を行う必要があります。

私たちが、東北・宮城を牽引していくという気概をもって、青年会議所だからこそできることを考え、真に必要なとされる復興に向けた取り組みを実践してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



2012年度 公益社団法人 仙台青年会議所 もぎ ひろとも 理事長予定者 **茂木 宏友**

経歴【入会年度 / 2003年】

- 2003年 / 会員開発委員会
- 2004年 / 七夕花火祭特別委員会 幹事
- 2005年 / 人間力開発委員会 副委員長
- 2006年 / 例会委員会 委員(兼務出向役員) 宮城ブロック協議会 総務委員会 委員長
- 2007年 / 財務運営会議 副議長 宮城ブロック協議会 みやぎJCアカデミー委員会 幹事
- 2008年 / まちのしあわせ創造委員会 委員長
- 2009年 / 副理事長
- 2010年 / 専務理事
- 2011年 / 副理事長 日本JC 規則審査会議副議長

編集後記

12月に入り寒さも日を追うごとに厳しくなり、気がつけば今年も残りわずかとなりました。皆様、広報紙「のぞみ」12月号はいかがだったでしょうか。仙台青年会議所にとって今年には創立60周年という節目の年であり、「未来に向けた一歩を踏み出し、さあいこう！」すべては子どもたちの笑顔のために「をスローガンに活動してまいりましたが、東日本大震災の影響により、様々な事業や活動を中止または変更せざるを得ない状況となりました。しかし、当委員会は災害支援活動をはじめ、各種事業、大会などの取材と記録写真の撮影、またケーブルテレビ番組内PRコーナーや、記者発表会によるマスメディアへの情報発信など一年を通して、精力的に活動してまいりました。

そんな中、震災を経験した子どもたちの夢を変えさせたくないという、齋藤理事長と佐藤校長の思いが、対談を通して多くの人たちに伝えられたらと企画致しました。

今後も仙台青年会議所は地域に根ざした「明るい豊かな社会」の実現をめざし、60年間続いてきたこの仙台（まち）に対する青年としての想いを絶やさぬよう運動してまいります。一年間沢山の皆さんに支えられ、また

多大なるご協力を頂きました事に深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

メディア戦略委員会 委員長 金ヶ崎政伸



発行情報

発行 行 / 2011年12月
発行責任者 / 金ヶ崎 政伸
住 所 / 公益社団法人仙台青年会議所
〒980-0801 仙台市青葉区本町二丁目16番12号
仙台商工会議所ビル8階

メディア戦略委員会

担当副理事長 / 高橋 英樹
委員室長 / 茂木 宏友
委員 / 金ヶ崎 政伸
委員長 / 佐藤 雅彦
副委員長 / 木血 謙司
事務局長 / 河合 良紀
副事務局長 / 阿部 勝弘
庶務 / 松野 隆之
広報 / 山本 浩之
総務 / 藤野 欣徳
経理 / 山本 浩之

2012年度 スローガン

新たな仙台の創造へ向かって
～すべての人へ感謝の想いを胸に～